

ベルマーク新聞 3月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

「あなたは、自分のことが好きですか？」

 富山・高岡市立横田小で尾木直樹さんがオーサー・ビジット

①特別授業をする、教育評論家の尾木直樹さん ②尾木さんがマイクを向けると、子どもたちは積極的に発言した ③お礼の気持ちを花束に込めて

富山県高岡市の市立横田小学校（荻沢芳美校長、児童141人）で2月9日、ベルマーク財団の教育応援隊事業のひとつ「オーサー・ビジット」が開かれました。本の著者（オーサー）が学校を訪ねて（ビジット）特別授業をする取り組みで、朝日新聞社との共同企画です。

今回のオーサーは「尾木ママ」こと、教育評論家の尾木直樹さんです。

横田小は今年3月で149年の歴史を閉じ、ほかの2つの小学校と統合することが決まっています。尾木さんは、横田小の5、6年生を対象としたアンケートの結果を紹介。「横田小が閉校し、統合することについて、どのように感じていますか」という質問に、43人中23人が「とても良いことだと思う」または「どちらかと言えば良いことだと思

う」と答えていました。その理由として多かったのは「新しい友達ができるから」。一方で、「どちらかと言えば良くないと思う」と答えた人も6人いました。尾木さんは「こういう声をみんなで出していくことが大事」と言います。

「先生や学校にしてほしいこと、望むことはどんなことですか」（複数回答可）という質問では、24人の児童が「いじめのない学校にしてほしい」に○をつけました。これについて尾木さんは「いじめのない学校にしたいと思っても、いじめは起きます。いじめの全くない学校にするのは難しい。大事なのは、いじめが起きたときにみんなの中でブレーキがかけられる学級、学校にすること」と話します。「いじめは心をナイフで刺されるようなもの。おばあさん、おじいさんに

なっても、息を引き取るまで、いじめられた人は覚えています。いじめは200%いじめの方が悪いの」と訴えました。

「あなたは、自分のことが好きですか？」という質問では、「好き」または「どちらかと言えば好き」と答えた人が43人中29人でした。こうした自己肯定感を測る指標は、日本は国際的にも低いと言います。「なぜ、日本人は世界の国々と比べて自分のことが好きではないのか、周りの人と話し合ってみて」と尾木さん。3分後、尾木さんが子どもたちにマイクを向けると、「いじめがあって、自分のことを好きになれない」「周りの人に冷たくあしらわれて好きになれない」といった答えが返ってきました。中には「本当は自分のことが好きだけど、恥ずかしくてうそをついている」という

人も。尾木さんは、先生たちや保護者に向かって、「子どもの夢をもっと応援して欲しい。『頑張れ』じゃなくて、ありのままに、今を輝こうと思えるようにね」と呼びかけました。

◇
児童の感想が後日、財団に届きました。いじめ問題や自己肯定感については難しいけれど、まず、自分を好きになることから始めたいと思いました。（5年生）この講演会を通して、今まで考えていなかったことを考えるきっかけになりました。（6年生）

自分たちのアンケートに熱心に答えてくれる尾木ママは、かっこよく、優しく感じた。私もそんな風に、人に寄り添って考えてあげる人間になりたいと思った。（6年生）

2024年度説明会は財団ホームページで

 5月に「バーチャル説明会」公開

財団では、全国で開催していたベルマーク運動説明会の開催をコロナ禍以降、中止しています。

参加団体の皆様に安心して「無理なく、無駄なく」ベルマーク運動にご参加いただけるよう、説明会の内容を「バーチャル説明会2024」としてホームページに掲載いたします。各協賛会社からのお知らせコーナーも設けて、ベルマーク活動に役立つ情報をお届けします。5月の連休明けにアップする予定ですので、ぜひご利用ください。

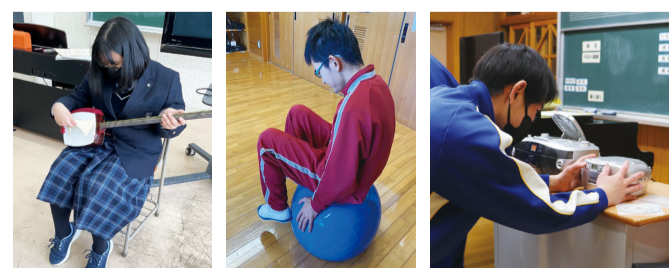
「ワイワイと楽しく活用しています！」

 へき地学校や特別支援学校から感謝メッセージ

今年度、財団が支援したへき地学校や特別支援学校から備品を使っている写真が届きました。

長崎県の新上五島町立有川中学校では、希望したバランスボールを主に特別支援学級で活用しています。事務職員の山口健二さんは「みんなでワイワイと楽しく活用しています」と生徒たちの様子を伝えてくれました。

北海道小平高等養護学校に贈ったのは、三味線セット。学校には和太鼓があるので、ほかの和楽器と合わせて演奏できれば、との理由から選びました。音楽担当の蓑口真理教諭によると、生徒たちは目を輝かせて、初めて見る楽器に触れていたそうです。



岩手県の宮古市立新里中学校から届いたのは子どもたちがCDラジカセを使っている写真。「小型でシンプルのため、使い勝手がよく、大事に使わせてもらっています」とのことでした。